

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題

第12号 天理市立学校における学校運営協議会委員の委託及び
任命について（案）

日程第3 報告

○ 3月市議会定例会の報告について

○ 令和4年度幼稚園・小中学校教育推進計画について

【まなび推進課】

○ 令和4年3月卒業の小中学生の進路状況について

【まなび推進課】

会議の経過議題

開会 午後 1時30分

終了 午後 2時53分

1 教育長

只今から4月の定例教育委員会を開始いたします。

本日の署名委員は、吉田委員と末浪委員よろしくお願ひします。

教育長報告の前に4月1日の人事異動で新しく来られた方の紹介をしたいと思います。市民総活躍推進課の前田課長です。

1 市民総活躍推進課

4月1日に市民総活躍推進課長になりました前田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

1 教育長

教育総合センターの山口所長です。

1 教育総合センター所長

教育総合センターの山口です。昨年は、教育総合センターの参与として勤務させていただいておりました。よろしくお願ひいたします。

1 教育長

それでは教育長報告に移らせてもらいます。まずは、奈良県給食理事会というのがあるのですが、私は都市教育長の代表として奈良県学校給食の理事をさせて頂いております。4月1日からプラスチック資源の循環促進法というのが施行されました。学校給食は相変わらず、プラスチックのストローを使用しています。そのことを申し入れてきました。江崎グリコはプラスチックストローの無い学校給食用の牛乳の出荷を始めました。奈良県にも、そんなことも含めて自然の循環や環境問題を考えようと言

ってきたのですが、今回の入札で、天理市は「雪印牛乳」から「いかるが牛乳」に変わったのですが、パックが固くなって子供の力では開けにくくなってしまいました。小学校や中学校では、飲み終わった後パックを開いて1回だけ水ですすぎ、そのまま洗い流さずにバケツに貯めて、パックはキッチリ折って並べて回収というのを、どこの学校も1年生からこれを教えてやっています。それが出来ないのですと言うと「奈良県学校給食理事会」で委員さん達は「え？そんなことをやっているのですか？」と不思議そうな顔されるのです。調べてみたら、みなさん高校教諭だった人たちばかりで給食を食べたことが無い方ばかりで「やっぱり現場を知らないとだめだな」と思いました。

今日もゆうフレンド委嘱式があります。去年参加させてもらったのですが、すごく良くて、大学生や大学院生が不登校の子達の家に行って寄り添い、友達になりながらその子たちの心の支えになるという事を天理市は早くから教育総合センターを中心にやっておられるのですが、その中身を聞いてとても感動し、そして同時に自分が恥ずかしくなりました。二十歳ぐらいの年齢の時に自分は「不登校の子供の心の支えになりたい」なんて考えてなかったという話をしてきました。

今年は、天理市の新人教員達をゆうフレンドの研修に連れて行こうと思います。いつも新人教員たちは1年間先輩からたくさんのお話を教わるけれど、自分より後輩にあたる子たちが同じような道でこんな風に頑張っていると知ると、元気が出るんじゃないのかなと思っています。そういう風な現場にたくさん出会って

いかないと、と思っています。

昨日、近畿都市の教育長 107 人が集まる大会がありました。3 年ぶりに再開され、その記念講演ですが、奈良県生駒市にある国立の奈良先端科学技術大学院大学の学長が話をされました。「これからの先が見えない社会を生き抜く力は何か？」と話されて 1 つは言語力。しかも、最近は言語が 3 つある。母国の日本語、世界中で仕事をする為の英語、そしてコンピューター言語だとおっしゃいました。この 3 つの言語で特に重要なのは日本語だと。英語はどれほど勉強したって母語を超えることは出来ない。英語力は日本語力がどれだけ高いかで決まってくる。今、天理市でも読解力を付けようと取り組んでいます、それが大事だと思いました。それともう 1 つは、いろんな違いを尊重しあえる力だ。そのためには、倫理観や道徳心や共感する力が必要になる。そういう事を大学院生と研究し教授と共に答えを探す研究をしているのだとおっしゃっていました。天理が目指している方向として間違っていないのだと思いました。3 月に市長が言われていた「みんなの学校プロジェクト」でそういう力を地域ぐるみで育てていきたいなと思っています。皆さんお力を貸してください。

大和ハウスの研修について連絡させていただきます。委員さん 3 人も参加して頂けるという事で 5 月 9 日に大和ハウスに見学に行かせていただきます。その資料が添付してあります。

研修担当の方が、市長室から教育長室にいられて断言していました。「50年後の人材を作ることが社長から言われた大和ハウスの使命なのです。そして環境に貢献しているという事をアピール

している活動、この2つをしないと大和ハウスは1日につぶれる」とはっきりおっしゃいました。4兆円の企業だそうです。そんな企業が「次の時代の人材育成もせずに環境に悪い事していたら1日で潰れる時代なのだ」とおっしゃっていました。辰市小学校のプロジェクトで日本全国とオンラインでつながったり、世界とオンラインでつながったり環境問題であるとか町づくり問題から協議するような取組をされています。ぜひ、天理市でも取り入れなければならないなと思っています。環境だけで教育を考えたり、人材育成のことを考えたりする時代ではない。90分の見学コースを組んでくださったので是非、行ってみたいと思っています。

この前、臨時議会で急遽私が答弁させていただいて認めていただいたのですが、「みんなの学校プロジェクト」で櫛本小学校の中で地域の方の居場所づくりを作る工事が始まります。行政財産である学校を、地域の人で地域の資金で改装して、使い方を模索していくという天理市始めて以来の事業が始まるというのを認めていただきました。それを市長が言うには、タイアップ事業で各校区それぞれの地域にあった形の学校を進めてほしいとの事でした。

日曜日の朝、柳本公民館へ行ってきました。8時から9時の間に朝ご飯を配っておられます。素敵活動だなと思いました。日曜日の朝早く起きると、夜早く寝られて、月曜日に元気に学校へ来られます。すごいのは、企業が協賛していてマクドナルドが正規の券を配ってくれたりします。

井戸堂公民館の写真を見てください。雨漏りの修理に1500万

ほどかかります。市長が「修理に 1500 万使うのならば、そのお金を井戸堂小学校で井戸堂公民館事業の《居場所づくり》のスペースを作ってそこを充実させるのに使ってみてはどうか？」との案があったので、一度、公民館の雨漏り具合を見に行こうと見に行ってきました。クーラーの下にあるこのシミは 5 年前の大雨の時に出了たシミでそれ以来、一回も出ていないとの事です。慌ててする必要はないのかなと思いました。もう一枚の写真の、屋上からのパイプから漏れていて、部屋の中の活動には関係無いのかなと思っていましたが、後日別の上からの写真を見ましたら、上の方にもひび割れがありひどい雨が降り続いたらもっとひどいシミに広がっていく可能性があるのかなと思います。

色んな公民館が学校の中にどんな風に入っているのか？入っていないのかを考えていかないとと思っています。この 4 月に、国が発表した全国の教育委員会の 77% が「学校が適正に成り立っていない」と答えています。統合していかないと成り立っていない。天理市の小学校も次に建て替える所が出てきたら統合しなければいけない。出生率や人口増加率から見るとそうなります。そうすると何が 1 番弊害かと言うと、子どもたちの通学距離が 20 キロぐらいになるという事です。それは地域の生活として共有できないだろうと。それなら、小学校が統合しなくてもいい道を探ることこそが、地域の教育を守る事になるのではないか。公民館と融合するのも一つの大きな方向でもあるし、あるいは幼稚園やこども園と融合するという方向も無いでは無い。児童と融合するのはもちろん最優先事項であるし、他にもいろんな

公共施設と融合して、公民館だけとして限定するのではなく、多様な小学校の在り方を工夫して追求する時期なんじゃないかと思います。日本全国民間企業と合併している公立学校もあります。

今年から、県教委は中学校の部活動の在り方を変えていこうというプロジェクトを立ち上げました。それは条例を変更して営利企業が学校の施設を使えるという事です。今までにないことです。営利企業が学校の施設を使い、部活動を民間に移行し、今年度中に方針を出すとの事です。学習指導要領から部活動を削除せよ。つまり中学校の部活動は学校活動でなくしなさい。と言っている。県教委は、これで止めようとは思っていません。手始めに枠組みを中体連（日本中学校体育連盟）にしないで、アンダー15、アンダー18という大会にしていく。そうすると、学校も出場できるし地域のクラブも出場できる。そんな大会にしたいと県教委は考えています。そしてゆくゆくは指導者をぐっと増やして地域スポーツへの移行をしていきます。その時に問題になるのが、家庭負担費用の家庭負担が必要です。そして地域の受け皿が必要です。そう考える時に、クラブ命っていう中学校の先生が居るんです。その人たちにも法律を変えて兼業を認めて、土日や放課後給与を与えてクラブ指導に来てもらう。そして、中学校のクラブは茶話会やどちらかというに参加することが楽しいという間口の広いスポーツや文化部にしていく。今年、そういう方向が可能かどうか3市町村のモデル校となった中学校が実施していく。つまり学校の在り様が、県教委自体から変わっていくのだ。学校とはこう在らねばならない。幼稚園とはこう在らねばならない。公民館と

はこう在らねばならない。というのを根底から変えなければいけない時代になってきているのだなとひしひしと感じているところです。資金のある所は企業と連携してやっています。例えば県教委は、今年は小学生の県の水泳記録大会をするとしています。今までは天理プールを使っていたのですが今年からは屋内プールのスイムピア奈良会場を移しました。それを受けて市内の各学校は水泳授業をするとしています。お金のある市町村は2年間使っていなかった市内全部の学校のプールの清掃を業者に委託するという所もあります。そういう意味でも、市長が言う「みんなの学校プロジェクト」を作っていって、子育てをするなら天理で思ってもらい、人口がたくさん集まり、税金を落としてもらって豊かな市にしていかないと、と思います。千葉県の流山市はこの5年間で人口増加率が全国1位です。その秘密は、子育てをするなら流山市という事で「子育て支援条例」を設定しています。天理市も「みんなの学校プロジェクト」が教育委員会の皆さんの力で具体的に前へ進んだらいいなと思います。どの学校がどんな形になるかなど、決して統一にしなくてもいいのかなと私は思っています。また教育委員の皆様の見解も頂きたいなと思っています。

以前の教育委員をしておられた方が、天理市の建築の会の理事になられて、子供達に建築現場を見せる学びをしてみてもどうか。という話があったそうで、とても良い話だなと思います。今、男子小学生に将来何になりたいかと聞いたら、1位はユーチューバーで2位がJリーガーでした。3位は何かというと、公務員で

した。色々な素敵な大人の働く姿を見せていかなきゃいけないのだなと思います。そういう意味では建築現場の仕事を見学できるのは良いなと思っています。

今、文科省が発表した小学校6年生の15人に1人がヤングケアラーだという事です。どこの学校にも居るので地域ぐるみでないと、その子や親は支えられない。だから地域ぐるみで子育てが出来る天理市に教育委員会がリードしてやっていければ良いなと思っています。その1つに幼保一元化の問題があります。こちらの市民からの意見をご覧ください。これは、まなび推進課が答えてお茶を濁す問題ではない。これこそ教育委員会が停滞していた一つの証だと思っています。確かに幼稚園側の言い分としては、子供がご飯を食べるのはハードルが高いから丁寧にやっている。この違いは何か？そこをどう考えているのか？という事を、きちんと説明しないままにこの意見を無視していいのか？子供全般に向けて進む教育委員会が、この意見をどう捉えるのかが大変大きな問題だと思うので、この意見を定例教育委員会を出してほしいとお願いしました。まなび推進課からちゃんとした理由を付けて返答することは容易いですが、でも、保育園と幼稚園の違いが歴然としている、親が困っている、おかしいのではないかと問われているこの状況に対して、教育委員会はどのようなスタンスを取るかです。今、天理市内の幼稚園の子供たちは400人も居ません。こども園の子供たちは1200人を超えます。このニーズの違いは何なのか？3倍のニーズは何なのか？教育委員会は真摯に考えなければいけないと思っています。いずれ全部こども園化に

するのか、統合するのか？その点も含めて教育委員会で論議しなければと思っています。

教育委員さん達に、夜間中学の研修をしたいなと思っています。昨年、前教育長からの引継ぎで夜間中学校の先生に来ていただいて、教育委員会内の職員に向けて研修を行いました。その引継ぎの1つには、教育委員会が考えている学校という枠の中に夜間中学がすっぽり抜け落ちてしまっている。夜間中学とは何か？どんな人がそこで学ぶのか？何故、そこで学ぶのか？どんな社会の在り様がそこにあるのか？という事が、すっぽり抜け落ちているのに教育委員会は学校と限定している現実があるということをも前教育長が気付かれて、「次の年には、夜間中学の研修を行ってくれ」という事を引き継ぎました。研修に40分程お話をさせていただいたのがすごく良かったのです。昨年の秋頃に、小中学校にマスクを届ける時にちゃんと教育委員会事務局が夜間中学の生徒さんの分も数に入れてくれていたのです。素敵だなと思いましたね。教育委員さんも定例教育委員会が始まる20分前ぐらいに夜間中学校の現状を教育委員会研修として研修していただければなと思っています。今の私の意見についてご意見やご質問等はございますか？

1 西畑委員

まず1点、公民館の雨漏りの件ですけど、予算は付いてないのですか？

1 市民総活躍推進課

付いてないです。

1 西畑委員

それは、予算をお願いすれば付けてくれる気がしますが、どうなのでしょうか？

1 市民総活躍推進課長

井戸堂公民館は、今回すぐに付けてくれました。

1 西畑委員

今回もぜひ。またどうなったか教えてください。

小学校と公共施設が一緒になっていると言えば、東京の中央小学校があります。1階が小学校で2階が幼稚園です。3階は体育館です。地下にはプールやスポーツジムがあり、貸し出されていたりして、一体化された良い事例なのでどういう風に運営されているかご興味があれば是非見学してみてください。

1 教育長

中央小学校いいですね。見学に行きたいですね。これまでの概念を変えないと、と思いますね。

1 西畑委員

先端技術大学の講義で、国語が大事というお話がありましたが、ゲストティーチャーとして中学校へ訪問した時に、国語が1番大事だと聞きました。人に何かを伝える力、相手の伝えたいことを理解する力、人生で1番大事な力は、国語力です。

1 吉田委員

夜間学級のことですが、一般の人からはあんまり見えていないし、あまり聞かなかつたりするのですが、中学校で不登校だった

子が中学校を卒業し、もう 1 度学ぶ為に夜間学級に通う事が出来るのか？とか分からない事があるので、研修をやって下さるとい
うのはとてもありがたいですね。

1 教育長

もし時間が許すのであれば、次回の定例教育委員会の前にでも、新しく教育委員会に来た職員も含めて夜間中学の研修を行え
たらなと思います。

それでは、日程第 2 議題「第 12 号 天理市立学校における学
校運営協議会委員の委嘱及び任命について（案）」に移ります。

説明をお願いします。

1 まなび推進課付課長

天理市立の小学校及び中学校における学校運営協議会の委員
について、天理市立学校における学校運営協議会の設置等に関す
る規則の第 7 条第 2 項の規定により、各学校長から推薦された者
に委嘱及び任命するという事です。任期は令和 4 年 4 月 28 日か
ら令和 5 年 3 月 31 日までです。資料として「天理市立学校にお
ける学校運営協議会の設置等に関する規則」の 8 ページから 17
ページをご覧ください。学校運営協議会の 3 つの大きな役割とし
て、規則第 3 条や第 4 条にもありますように、大きな役割につい
ては、①学校運営に関して校長が作成する基本方針の承認②学校
運営に関して教育委員会又は、校長に意見を述べる事が出来る。
③対象学校の職員の任用に関する事項について、教育委員会を経
由し、奈良県教育委員会に対して意見を述べる事ができる。と
なっております。

以上となります。ご承認よろしくお願いたします。

1 教育長

先日、地域コーディネーター研修がありまして、各学校の地域コーディネーターさんに集まって頂いたのです。私と、まなび推進課長、まなび推進課付課長、まなび推進課参事、教育総務課主幹の5人がそれぞれ分担して、天理市がやろうとしている「みんなの学校プロジェクト」の説明を丁寧に伝えさせていただきました。かなり具体的な話を皆様にさせていただいて、地域と学校をつなぐ「地域コーディネーター」の役割はどんなことをするのかという方針が具体的に見えてきたので、よろしくお願いたしますという話をしました。そのなかで、コーディネーターさんから出てきた話として、学校運営協議会にもこの話をしてほしいとの事でした。先ほど課長からも話が合ったように、「校長が作成する基本方針を承認する」。ビジョンを共有するという事で、学校運営協議会にも説明してほしいとのことだったので、是非とも説明しようと思います。5月6日には区長連合会に対して、市長と私が中心となって意見交換会をして、天理市の「みんなの学校プロジェクト」の趣旨をご理解していただきたいと考えています。地域側の主になる学校運営協議会についての提案でした。

ひとつ欠点といいますか、どうしても仕方がないのですが、昔は学校評議員制度というものがあって、学校評議員をすると、年齢的にもポジショニング的にもその人たちに学校運営評議員会をやってもらうのがやり易いのではないかという傾向が、地域の中に残っていますので、学校運営協議会と学校評議員制度との具体

的な違いが見えてこないという課題がありますので、そこをしっかりと伝えていかなければと思います。私が櫛本小学校の校長を終わる時に、丁度制度が変わった時で、「これは出来ない」と言う用務員さんに、「すみませんこれで終わりです。監督になって下さい」とお願いしました。実働部隊として学校運営協議会に入ってもらったので、学校の用務員さんにはご意見番みたいな形で支えてくださって、学校とやり取りしてもらって学校運営協議会が成り立って、助けてもらったなと思っています。必ずしもそうはなっていない所もあるので、これから自主的なところでまなび推進課付課長を中心に、私達で地域にご理解いただきながら進めていければなと思います。

議題 第12号について何かご質問はありませんか？

1 末浪委員

今回地域コーディネーターの会議があったということなのですが、学校運営協議会は学校運営協議会で会議がある。各地区の地域コーディネーターは、集まって会議がある。あとはどんなかたちで分かれて横の会議があって、それが縦の会議で全体につながるのでしょうか。

1 まなび推進課長

研修会という形にしておりまして、天理市全体の学校運営協議会と、地域コーディネーターの合同研修会を年に1回させていただきます。学校運営協議会には地域コーディネーターに必ずご参加いただいている、地域学校共同本部と学校運営協議会の橋渡しをしてもらっています。学校運営協議会は予算の関係上年3回

開催してくださいと各学校にお願いしています。教育長にも言っていたいただきましたが「みんなの学校プロジェクト」まで中々手が回っていない現状なのですが、同じ方向性をもってかためて、各学校の特徴は特色として大事にし、全体として進めていきたいと思えます。

1 末浪委員

ありがとうございます。

1 吉田委員

地域住民の学校運営参画に加え、地域住民による支援協力についても、校長先生から「これ困っている」「こういう事をしてほしい」という声を出してもらえるといいと思うのですよ。校長に来年以降の支援促進の為にも要望や困り事を伝えるように校長会で言っていただければ。

1 教育長

前回も地域の人が活躍しやすい体制をとという事で吉田委員から提案がありました。まなび推進課長どうですか？

1 まなび推進課付課長

前回のコーディネーターの研修会に各学校のコーディネーターと学校長か教頭のどちらかが参加して頂いていますので吉田委員がおっしゃるように、学校側の方針に基づいてコーディネーターやボランティアの皆さんが動いていただくという形になると思うので、学校側にはコーディネーターさんに学校の意見を伝えてください。またコーディネーターさんには、学校の意見をしっかりと聞き取って下さい、とお話ししています。

1 教育長

ありがとうございます。コーディネーターが親身になって動いてくれたら、職員たちが運営協議会を信頼するんです。校長が言っても信用できないけど、学校運営協議会が言うのなら信用しようか！と。冗談みたいなヤジが飛んできて嬉しいなという思い出が何回もあります。

他にご意見ありませんか？

無いようですので「議題 第12号 天理市立学校における学校運営協議会委員の委嘱及び任命について（案）について」を承認することとします。

日程第3報告に移ります。3月市議会定例会の報告について資料を事前に送らせてもらっています。何かご質問等ありませんか？

1 西畑委員

天理市からタブレットの貸し出しは、学習活動の為に使うとのことですが、ある中学校で、学習活動と思って休み時間に調べ物をしようとタブレットを取り出したところ、「休み時間は使ったらあかん」という話があったそうです。小学校で使っていたのに、中学校にあがった途端にそれは使えないと言われる。それは小中学校のつながりとしてよろしくないのではないかと。休み時間にタブレットを出すなということは、教育委員会から学校に伝えているのですか？

1 まなび推進課長

伝えてないです。

1 西畑委員

そうですか。であれば、学校全体で使い方をちゃんと線引きしたほうがいいのかなど。どちらかというところ、私はこういう職業なので、いつでもタブレットを取り出してデジタル学習に慣れてほしいと常々思っているのですが、それを自由に使いたくなると、モラルなどの面がでてくる。足を踏み入れようとしていたら、そこは見て、そこはいったらだめだと止める。そうしてモラルやルールが身についていくのではいかと思う。そういう風にならなくて、ガチガチに最初から固めなくてもいいのかなど。そういう面も考えていただきたいなと思います。

1 まなび推進課長

どのような状況だったかは、それぞれの子供たちの様子や、やっていたことの中身によりますので一概には言えませんが、西畑委員が言われたように、勉強時間・授業時間だけじゃなくていつでも気軽に使える力は子供達が付けていきたい力だと思うんです。後は、使い方が目指す方向につながる内容だったらいいけども、そうじゃない事も含めて色んな指導があるので、学校もそうなったのかなと思います。そのあたりは教育委員会が決めるのではなくて、学校間や教師間で、「こういう課題があるのだけれど、どういていけばいいか？」等と色々なすり合わせをしていかなければいけないなと思います。今は、何かあると教育委員会に聞いてこられる事が多いです。現場で起きていることは現場で解決していかなければいけないし、現場同士のつながりで探っていかなければいけないので、調整をしていかなければいけないと思いま

す。1番大事な目指すところは、子供たちが気軽に使えるようになることだと思うので、そのためにどんなルールの見直しが必要かな、という話し合いが現場で出来るように考えていきたいと思っています。

1 西畑委員

デジタルに対しては、若い先生の方が慣れるのも早くて理解が進むのも早いけど、理解の進んでいないベテランの先生に、「いやいやいや」と言われたら、黙らざるを得ない。となることもあるのではないかと想像するのですが、その辺り風通しのいい議論ができるように会議をしてもらいたい、配慮をお願いします。と校長先生にもお伝えください。

1 教育長

貴重なご意見ありがとうございます。新しく導入していく機材や機器などの新しいツールだからこそ、子供たちのモラルや、ルールの意識を高める必要があります。そのためには、行動制限じゃなく、自由に使える中でこそモラルや道徳心が育まれるのではないかという貴重なご提案だと思います。「使ったらあかん、こんなんしたらあかん」と言って子供たちを制限できるような世の中じゃなくなってきましたので。ネットも含めいろんなことで。自由に使いながら「何が良いのか？」を育ていけるような使用方法を学校でガイドラインができればな、と思います。

このあいだ、近畿の教育長会で107人の教育長が集まったのですが、市によっては「タブレットを返したい」と言っている所もあるそうです。天理市は中学校で履修2週間前にオンライン授業

をした事を皆さんすごく驚かれており、中学校側から「オンライン授業」にしてほしいと申し入れがあったと言うとさらに驚かれていました。近畿の県や市によっては、タブレットを国へ返したいという所もあるそうです。国の施策で配ったけれど、タブレットを扱える先生とあまり扱えない先生の差が大きく、段々と扱えない先生に合わせてきたとの事で無用の長物になってしまっていて、負担になっているので返したいと思っている市町村も出てきた。それは大きな別れ目だなと思ったのです。天理市はどんどん進んでいって、市長の意向もあって、昨年度使い方のプレゼン大会まで出来るようになったと。最初は、授業でも不具合がありました。オンラインで繋がっている子を忘れたような授業をしてしまったり、オンラインで提出が出来なかったり、休み時間に繋がる・繋がらない事を含めてのアクセスの不具合だったり。タブレットを使用しているからこそ改善されてきているように思います。

私も、前々回の教育委員会で西畑委員がリモートで参加される時に学びました。前に、中学校や地域の方からのご指摘もあって、リモートの子に声を余計にかけることこそが平等なのだと。あの時私は、しつこいぐらい「西畑さん！西畑さん！」と呼びかけていました。あれは中学校のリモートの授業で、無視されたような授業をされて困っていると保護者の方からお話があったので気を付けようと思いました。やはり使ってみることは大事だなと。使ってみてこういう事例があるよと校長に伝えて、現場を見て現場で話し合っしてほしい。道徳心や倫理観、モラルという物は自由

に使う中での自己コントロールが育むものであるという姿勢を
共通理解してほしいということをお話したいと思います。

議会の件に関しては、これでよろしいでしょうか？

1 吉田委員

食品残渣発酵分解装置なのですが、1校当たり674万円＋工事
費ということですが、このことに地域の人も関わることはあ
るのか？ということなのですが。大がかりな機械なので、費用と効
果のバランスはどんなものなのか、コンポスターをたくさん並べ
て利用するのではダメなのかを教えてくださいたいと思います。

1 教育総務課長

基本的にこの食品残渣の機械は、学校給食の野菜の切り落とし
や、食べ残しの部分等を機械に入れて一次発酵し、そしてその一
次発酵したものを業者が買い取って、二次発酵・三次発酵して、
最終的に堆肥に変えていくのですが、ただ単に装置に投入するだ
けじゃなく、まず学校で、例えば食べ残したのから堆肥に変わ
っていくことなど、自分たちが生きる上で大事な事を学んでいく
ことになります。そこから、児童だけではなく保護者の皆さんに
食品残渣の話や研修会をさせて頂いて、環境問題すべてに保護者
の方も関心を持って頂いて、また資源ステーションと言いま
して、地域の方から資源を持ち寄って頂いて、地域の環境をみん
なで考えていくという教育をしていくという事もありますので、
1台あたりの値段がけっこうかかるのですが、ただ単に高い物を
入れて宝の持ち腐れっていう物ではなく、地域全体で環境問題を
考えていってほしいなという思いがあり、決して無駄が無いよう

に有意義に使っていきたいと考えております。

1 吉田委員

子供達が家から生ごみを持ち込んだり、保護者や地域の人たちにも開かれたような場所ということですね。

1 教育総務課長

基本的には今後そういうことも考えていければと思います。まずは学校給食の食品残渣をメインにさせていただこうと。

1 教育長

市長から言われて、これを自治体でやっているところを見に行ったのです。ところが、欠点としてあまりたくさんの量を処理できないし、発酵が進む過程ですごく臭いがする。メタンガスが発生するので、そのメタンガスを利用してコーヒーを沸かし1杯200円ぐらいで販売して地域のステーションにしているのを見に行きましたが、臭いがやはり問題だなと思ったのです。そこで、市長が機械を導入するとおっしゃった時に、次長と会社へ見に行かせてくれと言いました。やっぱり学校で臭いがすると、周りの民家にご迷惑をかけたり、クレームが来る。使わなくなったり、あるいは給食室の中に入れた時に水が汚れないのだろうか、先生の仕事が増えないだろうか？と心配して見に行ったのですが、とても近代的で全く臭いがなくて驚きました。NTTの京橋の社員食堂に置いてあるのですが、蓋を開けて発酵している中に顔を突っ込んでも全く臭いがしない、そして90%が水ですが、排水も全くにおわないし、裏に量を測るカウンターのセンサーが付いていて、いっぱいになってきたら自動で回収業者に情報が送られ

て回収してくれます。だから学校の管理職の先生が出したりしなくても良くて、これなら持続可能だなと思いました。PTAも協力して家庭のごみを持ち込み、当番制で生ごみの確認を行うなどのシステムを作っていけば、学校の負担にならないのではないかと。また、ご協力いただいた方に天理市のデジタル通貨ポイント、ごみを持ち込んだ方にもデジタル通貨ポイントを付与できるようなシステムを、NTTと協力してできる。そんな事業の費用でもあり、デジタル通貨をセッティングした価格設定にもなっています。

何でこんなに臭いがしないのかというと、その中に入っているのがバチルス菌だったのです。これを福住で子供たちが行う農業プロジェクトにバチルス菌を使いたいと言うと、バチルス菌の社長が無料で噴霧器もサービスすると言ってきて、散布すると農作物の病気もなくなりハリも良くなり害虫も全部居なくなり、しかも土や水は汚れないという事でこれが持続可能な環境活動になっていけばと思います。

1 末浪委員

今、吉田委員のお話を聞かせて頂いて、天理市でも、一般家庭に食品の余った物を家庭で処理する機械の補助をするという話があったのですが、デメリットが多いと聞くことが多く、細かく切らないといけなかったり、ちょっとしか入らないとか、出来上がるのに時間がかかったり自分で購入はやめたのです。その大きいバージョンが、この残渣機だと思っていたのですが、市民の方たちにも私と同じようなイメージを持たれている方が多いと思うのですが、教育長と次長のお話で、臭いが気にならないとの

事なので、導入に至った経緯を話してくださると、地域の皆さんも興味を持って、一緒に取り組んでもらえると思います。実際、食品を入れる入り口は大きいのですか？

1 教育総務課長

基本的には細かくしないでそのまま入れられると聞いています。中でずっと攪拌して細かくしている中で堆肥になっていくという事です。

1 教育長

見学とかしてみたいですね。

1 末浪委員

こういう流れで天理市は導入を決めました、と伝える機会があると、「導入したらしいよ」という風に人から人へつながって広がっていき、良いのではないかなと思います。

1 教育総務課長

この機械を作っている会社が NTT の会社なのですが、導入する前に各学校に環境の研修もしてくれるので保護者の方にも参加してもらえたらなと思っています。

1 教育長

山添村の教育長が来られた時に、教育長室の壁に貼ってある残渣の機械の記事を写真に撮っておられました。山添村も人口は少なくなるけどごみは増えているらしく、「これ良いですね」とおっしゃっていました。今度、次長と一緒に給食業者を回って、機械の説明をします。調理員さんにもご理解いただいて、給食を作る際に出る野菜の端や魚の骨等を、今までは生ごみとして紙と一緒に

に捨てていたものを、分けてバケツに取って、機械の中に入れてほしいのですというお願いをしに行こうと思っています。

1 西畑委員

その時に動画を撮って、Facebookの「e～やん天理」に載せてはどうですか？

1 教育長

それは良いですね。なるほど。業者訪問から動画撮って載せたら広報にもなるし良いですよ。

議会の件に関しては、これでよろしいでしょうか？

ほかにはないようですので、次に「令和4年度幼稚園・小中学校教育推進計画について」をまなび推進課長よりよろしくお願ひします。

1 まなび推進課課長

「教育推進計画」と「食品残渣発酵循環機械」と「学校運営協議会」と絡めてお伝えすることがあります。

「学校運営協議会」が「評議委員会」から抜け切れていないという現状があります。学校が示す提案について承認し、進めるという流れから抜け切れていない。主体的に動き切れていない。ボランティアや地域コーディネーターは、学校の為に何か力になりたいとやる気はあるのだけれど、何から始めたら良いのか分からない状態です。地域コーディネーターが上手に間を取り持てばスムーズにいつているところもたくさんあるとは思いますが、そうではない所もあります。そんな状態で「みんなの学校プロジェクト」が進んでいこうとしています。「こういうイメージで進ん

でいきたい！各地域と学校よろしく」というだけでは何をしたらいいか分からないという所があると思います。今も「コミュニティスクールはこういう趣旨ですので、後はよく考えて話し合っ
て熟議してよろしく願いいたします。」と言ってきましたが、長年なかなか評議員会からの脱却ができていないなあという実情があります。そこで考えたのですが、具体的に「今年是天理市全体でこういうことに取り組んでほしい」という事を、こちらから一つお題を各校区にお示しして、それについて取組を進めていく内に、自然と主体的な学校運営協議会になり、自然とコーディネーターが学校と地域のボランティアを繋ぐ役割を担ってもらい、そして取組が活性化していき「みんなの学校プロジェクト」も実現に向かうのではないのかなと思っています。

その1つの取組が、秋ごろに導入される「食品残渣の機械」です。この4月から各学校では食品ロスや資源のリサイクルについて学習計画を立ててもらっています。土台となる計画案があるので、学校が一から考えるのではなく、それを参考にしながら学習計画を立ててもらっています。

このあいだコーディネーターと話していて、「学校はこういったことを進めていますので、ぜひ、コーディネーターさんから、学校にどんな学習活動をしているのですか？と聞いてみてください。そしてその学習活動の中で、これ一緒にできそうだなとか、これは分担してできそうだなとか、学校と平行して地域で取り組んでみようかな、と支え合えるような学校を作っていってください」とお願いしました。そうすると、きっと必ず、学校と地域の

方は話し合ってくれるので、具体的な活動を作っていける流れに、食品残渣の機械を活用していきたいと思います。

さきほど吉田委員からもご意見があったように、食品残渣の機械の歴史や、地域の活動と繋がっていくのか、学校の学習活動と地域のボランティア活動をうまく繋げていけるのかという所から取り組んでいけたらなと思います。

地域コーディネーターの方はすごく前向きに理解をしていただきました。「大きな課題なので、ちょっと荷が重いけど頑張るわ」という受け取り方をして頂いたのですが、その中で「学校運営協議会にもこの話をしてほしい。コーディネーターは簡単やけど、学校運営協議会がどうしても評議員会のままなのです。」という声がありましたので、ぜひこのこともそこでお話ししたいと思っています。学校運営協議会が受け身でなくて主体的になっていけばいいですね、ということを経務局では、そういう狙いで位置付けています。ということで、この推進計画では学校や県単独で教育活動進めていくのではないですよという所が今回大きなポイントになっています。幼小中はもちろんの事、保育所・こども園ともつながって行って、子供たちの育ちはその時だけではなくてずっと続いていくよ、という事を意識していく。学校を卒業した後も将来に向けて、今自分たちがしていることが社会へ繋がっていくという実感をするような展開をしてほしいという願いを込めた推進計画です。

以上、推進計画についてでした。

1 教育長

大幅に簡略化をし、持続可能な課題を挙げたように思います。昨年度教育委員会で、総括で達成出来たか出来なかったかを表せるような計画にしてほしいとのご指摘を頂いたので、総括もきっちり出来るような推進計画にしてほしいと思います。今の意見について何かご意見ありませんか？

1 西畑委員

まなび推進課に変わってけっこう経ちますが、ずっと以前の雰囲気が残っていましたが、最近ようやく一体化して子ども達から地域の人まで繋がっていくというのを実感しています。

1 教育長

ありがたいご意見です。私たちが狙っているところを評価していただきました。

他にご意見ございませんか？

1 末浪委員

先ほど小学校と幼稚園の上に企業が入っているというお話がありました。垣根を越えて一体となるのであれば、天理市でも唯一の私立である天理幼稚園・小学校・中学校の子ども達も、同じ天理市民として、このプロジェクトで何か一緒に出来たりとかはありますか？

1 まなび推進課長

もちろん交流はありますし、一緒に会議もあります。市の方針にどこまで私立の学校が一緒に入ってもらえるか。繋がれるところは繋がりながら情報共有等もしていきたいと考えています。

1 西田委員

食品残渣の機械も資源ステーションもみんなの学校プロジェクトも、天理市が1つの方向を向いて一体となってやっていこうというプロジェクトなので、少し先になるかもしれませんが、天理市はこういう方向でこういった取組をしていきたいという事理解をしていただいたら、共有というか、私学でも同じようにできる取組から出来るかもしれませんね。なかなか全部一緒にとするのは難しいかもしれませんね。

1 教育長

でも天理幼稚園・天理小学校・天理中学校に発信はしていかないといけませんね。例えばクラブの民営化の話は、中学校の方にも情報として発信して、一緒にクラブの在り様がどうなのか、アスリート目指すクラブと、楽しいクラブとの住み分けをどんな風にするのかを考えて発信していかなければいけないなど思っていたので、合わせて天理市が進む方針も、発信していかなければいけないなど。意見交流していくところがあるのではないかなと思いました。

1 末浪委員

天理市はスポーツの街でもあるから、天理市ならではのアスリートと楽しい何かが出来ればいいと思います。

1 教育長

添上高校が、ぜひともそれに役立ちたいと申し出てくれています。櫛本小学校が、添上高校のスポーツ・サイエンス科に体育授業に来てもらっているのですが、全国大会レベルの走り高跳びや

ハードルを見て、子供たちは「カッコイイ」と感動しています。高校生がとても親切に教えてくれるのです。こども達の何が一番変わるかという、授業の初めの「お願いします。」の声と最後の「ありがとうございました。」の声が全く変わるのです。姿勢もピシッとなって「ありがとうございました。」って言うのです。これが学びだなと思いましたね。近くに添上高校もある、また天理大学や天理高校のクラブもあるので、その方たちと連携しながらアスリートを目指す子供達も頑張れて、楽しく運動に親しむこども達も居場所がある、そういった天理だからこそ出来る事を教育委員会でも具体案を頂けたらありがたいなと思っています。

1 吉田委員

「教育推進計画」「食品残渣発酵循環機械」「学校運営協議会」について天理市の教育方針として、簡潔に出して頂いています。各学校も方針を考えておられるかなと思うのですが、ホームページにはいつぐらいにでますでしょうか？

1 教育長

これは学校の欠点なのですが、学校のホームページは意欲のある教員がいる時にはすごく充実するのですが、その教員が転勤すると次第に更新が遅くなる事があります。凝ったホームページじゃなくて良いので早く更新していかないと、と思います。

今、文部科学省か内閣府が、防災コーディネーターを地域に作って学校の中に入れろという指示が出ました。防災教育も同じで、一部の熱心な教師が居る時は防災教育や避難訓練を熱心に行い、その教員が転勤すると途端に消えてしまう。ところが東日本大震

災で教訓となったように、地域ぐるみで防災教育を行っているところは助かっているのです。学校だけでやっていたところは、間違ったところに逃げて被害に遭っているのです。地域の昔からの言い伝えを守っていたら生き残れたはずなのに、という反省があって、地域の人がコーディネーターとなって、学校と地域が共に避難訓練や防災教育を行うような役割を作りなさい。という方針を出されました。それは是非やっていかないと、と思います。

こどもたちが大人になるまでに、南海トラフを含め大きな地震がほぼ確実に来るという統計があります。その時に地域がしっかり、今天理市がやろうとしている取組が根付くように。たとえば避難所を開設するとなったとき、障害を持つ方にどう情報を届けるかまで考える避難所が東北でもできています。その辺はしっかりやっていきたいなど、そのための発信をしないといけないなど思っています。ホームページの反省を含めて、発信していこうと思います。

他に何かご意見はございませんか？

無いようですので、以上を持ちまして定例教育委員会を終了します。

閉会 午後 2時53分